

赤津隆助 あかづみ たかすけ 圖書教育者。明治二十二年十一月一日福島縣平町生れ、昭和二十二年四月五日歿（六十九）。舊姓内藤。東京府師範學校（のち東京第一師範學校）卒。爾來一貫して母校の教育養成に當る。一方小林萬春、岡田二郎助の注書者、台演説の圖書教授法の指導を受ける。また橋本雅邦の門に入り日本畫を學ぶ。大正九年新圖書教育會の創設に參劃、翌年新日本教育者聯盟を組織して教育革新運動に加はる。昭和十八年關東師範美術聯盟理事長。

著書に『小の影』（昭和二年刊）、『學校略畫』（昭和十二年刊）、『日本畫鑒成』（昭和十八年刊）等。青巖社編『赤津隆助』（昭和五十二年四月二十日赤津隆助先生訃告出版会）は、遺文及び追憶集。



赤津隆助

赤津隆助先生
記念出版会刊